

■ 全体講評

今回実施されたプロジェクトマネージャ全国統一公開模試午後 I の記述式問題は、短文の記述式解答の問いが数多いという最近の本試験の特徴になって出題されています。難しいと感じられた人が多かったと思いますが、今回 60 点以上得点できた人は自信をもってよいと思います。得点がかんばしくなかった人は解答の要点や表現を見直し、理解不足を補う努力を心がけてください。

本試験では、解答の影や筋が全く見当たらないような難問奇問のたぐいの問題は、まず出題されることはないと考えてよいと思います。したがって、午後 I の記述式問題の解答にあたっては、一般的な専門知識を前提に、問題や設問の意図や説明を十分に理解し解答を導いていくことが求められます。どうしても問題文や設問文に手掛かりが見つからないときに、初めて一般的知識による解答を考える必要があります。つまり、問題文や設問文にある解答制約や手掛かりは必ずあると考えましょう。適切に把握すれば、必然的に正解へ、たどりつくことができるかと信じて取り組んでください。例えば、一方的な思込みや自分自身の特定な経験に対するこだわりなどによって不正解になってしまった箇所は、設問要求や問題の意図するところを読み取り、確実に言える表現で解答できるようにしましょう。

不適切な解答の中で多いのは、解答のポイントや方向性は間違っていないのに、設問の考えや趣旨からずれている解答、要求事項や指示に従っていない解答と言えます。問題文や設問文に書かれている記述やキーワードは大きなヒントであり、解答の手掛かりの一部であることをしっかり理解した上で、設問要求に沿って適切な表現で解答をまとめるようにしましょう。解答欄に対してボリュームが異常に少ない表現、高度情報処理技術者としてのプロフェッショナル性を疑わせる表現、「そこまで限定して解答できるのだろうか」と感じられる強引な解答表現や、いろいろなことを列挙してどれかが正解に引っかかることを期待するような解答は、採点者に対して心証が悪く、それだけで減点対象となりえます。結果として正解とならないおそれがあるので注意しましょう。

午後 I 試験では全 3 問の出題から 2 問を選択解答する必要があります。解答用紙に選択する問題を記すわけですが、きちんと 2 問選んでいない人、丸を付ける欄を間

違えて採点欄に丸を付ける人がいました。これは解答以前の問題なので、くれぐれも注意して、指示通り確実に問題選択することを心がけてください。なお、漢字の間違いや略字、問題文や設問文と国語論理的にずれた解答が見られています。また、単語レベルで説明不足の解答表現も見られています。特に設問要求に解答表現がきちんと論理的に合致しているかに注意してください。

最後に、論文系の区分の午後 I 試験は詳細なその試験区分の専門知識がなくても問題文の文脈と一般常識で解答が類推できる場合も少なくありません。PM 区分でも、受験されたほとんどの皆さんが、何らかの開発プロジェクト業務に携わっていると思います。直接の PM 経験がなくても、自身の業務経験と合わせて、最後まであきらめず必ず合格する、という強い意識をもって臨むようにしましょう。

<午後 I >

問1 販売管理システムの再構築における移行計画

【採点基準】

〔設問1〕

「データの件数のみに着目している」点を明示的に示し、解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 6 点。

〔設問2〕

- (1) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 7 点。
- (2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 6 点。
- (3) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 5 点。

〔設問3〕

- (1) 「本番移行の時間短縮」あるいは「本番移行の対象データの削減」を明示的に示し、解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 4 点。
- (2) 「マスタ系データの更新」に言及し、解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 5 点。

〔設問4〕

- (1) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 6 点。
- (2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 6 点。
- (2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているもの

に対し6点。

- (3) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し5点。

【講評】

販売管理システムの再構築を題材にした移行計画に関する問題でした。題材となるシステムの業務内容は問われず、設問で問われた内容は、いずれも移行計画の一般的な策定に関する内容と思われます。ただし、問題文の文脈や設問の趣旨をよく踏まえて解答する必要があります。この点でやや難しかったと思われます。選択した人は多かったのですが、なかなか得点を伸ばせない状況がうかがえました。

設問1は「データ件数だけの判断」が解答要点です。この点を明示的に示さないと不正解としています。

設問2(1)は「現行データへの影響の調査が必要」という点が解答要点です。なかなかこの点をしっかりおさえた解答は見られませんでした。(2)は、「機能追加や変更の凍結時期を明確にする」ことが解答要点です。「凍結する」旨の解答は半分の得点としています。(3)は「開発経験者がいない」、「関わったのはS君のみ」という点を適切に表現して正解にしています。

設問3の(1)は、本番移行の時間的メリットあるいは対象データの削減について適切に表現していれば正解です。(2)は「マスタ系データベースの更新の有無」が解答要点となります。「マスタ系データベース」ではなく「データ」といった表現による解答はあいまいで不適切な解答です。注意しましょう。

設問4の(1)は、データを初期状態に戻す必要があることを適切に表現していて正解としました。(2)は、手作業によるデータ変更が必要であることを適切に表現していて正解としました。(3)は、営業部門の要員による変更作業依頼を適切に表現して正解としました。補助的なサポートといった解答は3点としました。(2)や(3)は比較的正答率が高かったです。

問2 文書管理システムの構築

【採点基準】

【設問1】

- (1) 解答例の解答のみ各4点。
(2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し7点。

【設問2】

- (1) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し7点。

- (2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し7点。

- (3) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し7点。

【設問3】

- (1) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し7点。

- (2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し7点。

【講評】

文書管理システムの構築を題材にした要件定義への対応や進捗遅延発生への対応に関する問題でした。本問は、解答数が少なく取り組みやすいと考え、選択した人は多かったようです。ただし、解答要点や設問要求の意味をしっかりと把握して解答しないと得点に至らず、やや難しい問題でした。

要件の確実な定義や仕様変更要求への対応は、プロジェクトマネジメントで最重要な課題です。問われていることに対して、表面的な一般的正解を述べている解答が散見されています。問題文に従ってその文脈できちんと解答しないと得点が伸びないので、適切な解答を確実に探していくことが求められます。

設問1(1)は、「Y専務」、「マネジメント会議」を確実に表現して正解です。「マネジメント会議」を「マネージメント会議」と表記する残念な解答が散見されています。「表 会議の一覧」には「マネジメント会議」と書かれています。得点できないリスクを高める不注意は慎んでください。(2)は「要求の優先順位付け」が解答要点となります。要点をおさえた解答を心がけてください。

設問2(1)は、「文書化」が解答要点になります。(2)は「仕様凍結時期以降の仕様変更依頼に関する合意」が解答要点です。(3)は「優先順位の低い機能の先送り」が解答要点です。いずれも要点が甘い場合、得点を4点としました。

設問3(1)は、「製造工程と結合テストの作業順序見直し」、「並行作業」が解答要点となります。(2)は「営業支援システムとのシステム間結合テスト」が解答要点となります。

設問要求に対して、一義的に答えるべき内容を解答しないと、記述そのものは妥当であっても得点がもらえないので注意しましょう。

問3 外部委託管理について

【採点基準】

〔設問1〕

- (1)～(3) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し各6点。

〔設問2〕

- (1) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し5点。
(2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し5点。
(3) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し5点。
(4) 解答例のみ5点。

〔設問3〕

- (1)(2) 解答例と同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し各6点。

【講評】

証券会社の営業支援システムを題材とした外部委託管理の問題でした。一部解答を考えにくい問いも見られましたが、他の2問と比べて若干難しかった感があります。要求されている解答が何かをよく考え、解答表現する必要があります。

設問1(1)は、「仕様変更対応要求への対応の契約合意」が解答要点となります。(2)は「仕様凍結時期の条項」が解答要点となります。(3)は「コスト超過リスク」が解答要点となります。要点が甘い場合、得点は3点としています。なお(3)は、X社との契約形態に合わせるといった趣旨の解答でも正解としました。

設問2(1)は、「WBSの作成」が解答要点となります。(2)は、「実績報告書」、「書式」が解答要点となります。(3)は「作業状況や問題が早期に報告されない問題」が解答要点となります。要点が甘い場合、得点は3点としています。なお(2)は、「実績報告書」のみでは3点です。(3)は、その結果、進捗遅れや品質低下といった問題につながることまで含めても正解としています。(4)は、別解はありません。やはり「個人情報保護法」という誤答が散見されました。

設問3(1)は、「Z社負担の要請」が解答要点となります。(2)は、「リグレーションテスト」あるいは「回歸テスト」が解答要点です。表現が甘い場合、半分の3点としています。

一般的に記述式の解答は、問題文を踏まえて「確実に言える表現で」解答をまとめることが大切です。また、一般的でない俗っぽい表現や稚拙な表現は避けて、正し

く分かり易い表現を心がけてください。そうすることが得点力を高め、解答の実力を養っていくことにつながります。

なお、問題の選択は合格するための重要な要素です。3問から2問選択ですので、言い換えると「どの1問を捨てるか」ということとなります。実際の問題の難易度は取り組んでみないと何とも言えませんが、問題文のテーマやドメイン、設問文の解答のしやすさなどを目安に迅速かつ適切に問題選択を行うようにするとよいでしょう。

以上